

よしかず未来通信

令和4年1月発行

新たな年を迎え、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、旧年中は大変お世話になり厚くお礼申し上げます。本年も引き続き、白山市政の発展・地域の発展に微力ではありますが全力を尽くしてまいります。

さて、新型コロナウィルスも一段落したとはいえ、新たなオミクロン株が、いつ猛威を振るうかわかりません。

第6波に備えて、皆様とともにこの危機を一緒に乗り切り、新たな時代を切り開いていきたいと思ひます。

これからの人口減少、少子高齢社会に対応し、安全・安心のまちづくりを目指すとともに、地方創生時代に対応すべく開かれた議会づくりに全力で取り組んでまいります。

今後ともより一層のご指導を賜りますようお願いし、この紙面を借りて市政の主な報告をさせていただきます。

令和3年度の松陽地区の主な事業

(土木関連)

笠間地区:加賀海浜産業道路道路改良事業

(4車線化埋文調査、用地補償、改良工事・小川町～松本町間)

H29～R3

県道松本木津線道路改良事業(笠間公民館前)

県道松本木津線道路改良事業(笠間交差点～柏野踏切)

R3測量～

加賀笠間駅防犯カメラ設置

R3年10月稼働

加賀野地区:加賀野5号公園(新幹線下事故防止フェンス設置)

R3

宮保地区:市道E51号線道路改良事業(小川町・上小川町)

H27～R5

市道米永松本線道路改良事業(宮保町及び黒瀬町)

R3年度

(仮称)白山市立野球場建設工事実施設計(黒瀬町)5ha

R3～

柏野地区:生活道路リフレッシュ事業(国道8号山側)

R3年度

石川地区:鶴来美川インター線道路改良事業(水澄南交差点改良)

R2～

(水道関連)

加賀野地区:水道管布設替工事・舗装復旧(13工区・西柏2丁目)

R3年度

水道管布設替工事・舗装復旧(14工区・西柏3丁目)

R4年度予定

下水道管更正事業(西柏町・西美沢野町)

R3～R4

宮保地区:石綿管更新事業水道管布設替工事(百生苑)

R2～

簡易水道統合事業水道管布設工事(小川・上小川、高松地内)

R2～

(公民館)

笠間公民館:新公民館建設(進捗率71%・R3年12月末)

R4年3月完成予定

宮保公民館:新公民館建設(進捗率87%・R3年12月末)

R4年3月完成予定

旧公民館解体事業

R4年度予定

柏野公民館:新公民館設置用地購入

R4年度用地買収予定

R5年度建設予定

加賀野公民館:軽体育館玄関修繕

R3

(その他)

(仮称)白山総合車両所ビジターセンター

R3～R6

施設概要:実施設計中(宮保地区内)

敷地面積:約1.3ヘクタール

建築面積:約2,300㎡(延床面積2,900㎡)

事業予定:R4年度～5年度、R6年春開業予定

(新幹線開業時を目指す)

笠間町市街化区域編入(1.0ヘクタール・民間開発行為)

R5～

北島町・米光町市街化区域編入(11.3ヘクタール・土地区画整理事業)

R4～

石立町市街化区域編入(6.7ヘクタール・土地区画整理事業)

R4～

ゆたかなかがやく未来

裏面へ続きます

白山市議会代表質問

週6日体制で夜間接種

コロナワクチン 21日から午後7～9時

山田憲昭市長は11日開かれた市議会6月会議本会議で、新型コロナウイルスの夜間接種を21日から週6日体制で進める方針を示した。従来の午前9時～午後4時半に加え、医療従事者の協力を得て午後7～9時にも接種枠を追加する。目標とする7月末までの高齢者接種完了に向け、昼夜2部制でペースを加速させる。

予約をスムーズに処理するため、コールセンターの回線は10から20に増やすとした。

教職員らに優先接種

クラスター（感染者集団）の抑制に向け、山田市長は小中学校の教職員や保育士、放課後児童クラブの指導員、介護事業者らを対象に優先接種を実施する考えを明らかにした。

公立松任石川中央病院と調整を進めており、早ければ今月下旬にも実施できる見通しとなっている。



山田市長は16～64歳の接種券について、25日に対象となる市民に発送する。石地、小川義昭（市政会）の両氏が取り上げた。移住と定住PR戦略は石地宜一氏（二創会）の促進に向け、住んでみたいと思わせるPR戦を聞く。

14日予約開始
石地宜一氏（二創会）の代表質問に答えた。夜間接種の会場は市役所に隣接する市民交流センターの5階ホールで、7月末までに計2千枠を用意する。1日当たりの接種人数は120人となる。対象は65歳以上のみで、予約は14日からウェブとコールセンター、市民交流センターに設置する予約代行窓口（14～16日のみ、各日先着300人）で受け付け

る。予約をスムーズに処理するため、コールセンターの回線は10から20に増やすとした。

山田市長は16～64歳の接種券について、25日に対象となる市民に発送する。石地、小川義昭（市政会）の両氏が取り上げた。移住と定住PR戦略は石地宜一氏（二創会）の促進に向け、住んでみたいと思わせるPR戦を聞く。

月次支援金 上乗せ検討

山田憲昭市長は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で売上額が減少している事業者の支援を検討する考えを示した。酒や食品の卸売業者、旅行関連業者向けに国が設けた「月次支援金」への市独自の乗せを想定している。石地氏に答弁した。

国の制度である月次支援金は、まん延防止等重点措置の適用地域で、売上額が半分以上に落ち込んだ卸売業者や旅行関連業者が対象となる。飲食店は対象から外れる。市は月次支援金を受けた事業者に対し、追加で給付することを想定している。金額は未定で、コロナ禍で悪影響を受ける幅広い業種を下支えする。

白山市議会一般質問

体験型8種導入

ふるさと納税、来月にも

白山市議会8月会議は8日、本会議を再開し、8氏が一般質問した。答弁で市側は体験型ふるさと納税を10月にも8種類導入する方針を示した。白山比咩神社で心身を清める「みそぎ」体験などのコースがあり、地域の魅力を発信して交流人口拡大と、歳入確保の両方を推進する。

ジオパーク巡りや比咩神社参拝

石地宜一（二創会）、木谷和栄（会派立志）の2氏が導入する体験型はみそぎの質問に横川祐志総務部長が答えた。体験のほか、白山手取川ジオパークの見どころを地元ガイドの案内付きで巡るコースも導入する。ち歩きジオツアー4コース

（松任、美川、鶴来、白峰）縁結びで知られる白山比咩神社を参拝して鶴来の町並みや文化、歴史、味覚などを楽しむ「恋のしらやま」などがある。

市は返礼品にスキ場のリフト券や宿泊券を取り入れているが、本格的な体験型ふるさと納税は初めてとなる。食品などを贈るふるさと納税と比べ、現地に足を運んでもらい、住民と交流することによって白山のファンになり、再訪につながる可能性が大きい。

修学旅行前接種完了を



石地宜一氏（二創会）修学旅行前に中高生のワクチン接種を。山田市長は学3年、高校3年の受験生向け集団接種は10月22日まで2回を終える予定。

石地氏 建築物の調査にAI付ドローンを活用してはどうか。安達副市長 作業効率化やコスト抑制につながる点検技術開発が進めば、積極的な活用が期待される。

地域の皆様の声に耳をかたむけ、初心を忘れず市政発展に全力を尽くします！



発行元：石地よしかず
白山市石立町181
連絡先 076-275-2099